



生目地区青少年育成協議会

発行人 日高富士美

編集 広報宣伝部

事務局

〒880-2101

宮崎市大字跡江3131番地

宮崎市立生目中学校内

TEL. 0985(48)1101

題字デザイン 生目中1年 井上ほとり

第
30
号



 輝く子どもたち!

生目小学校稲刈り体験

様々な出来事と成果に彩られた1年 生目小学校 PTA会長 有菌 卓也

皆様、こんにちは。生目小学校PTA会長の有菌です。会長就任し1年が経過し、我々のコミュニティは様々な出来事や成果に彩られた年でした。

まず、本年度の活動の中で大きな注目点は、学校と保護者のコミュニケーションの向上です。

コロナの第5類移行に伴い、中止していたミニバレーボール大会やバザーが復活し、行事を通じて学校や保護者との連携を一層強化しました。これにより、保護者の顔の見える関係づくりや情報共有が円滑に行え、より良い協力体制が実現しました。

特に本年度はバザーが大盛況でした。体育館で行われたバザー、おやじの会主催の射的、外部のキッチンカーによる販売などが開催されました。子供達も多くの笑顔が見られ「楽しかった。お友達と買い物の体験ができて良かった」という声を貰いました。また保護者からも大変好評を頂き、是非来年度も開催して欲しいというご意見を多数頂きました。

バザーにおいては当日だけではなく、その前の準備段階から保護者や学校が協力し合い、全体での交流と連帯感が深まりました。

年に一度の各行事の機会を通じて、PTAとしても保護者同士や教育機関との架け橋となるような活動に取り組みました。

そして、最後に感謝の気持ちを述べさせていただきます。地域の皆様、先生方の熱意と協力があってこそ、本年の成功がありました。来る年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからも子どもたちの成長と幸せな学び舎づくりに向けて、共に歩んでいけることを願っております。本年も多くのご協力、誠にありがとうございました。来る年が皆様にとって輝かしいものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます





生目中学校は、1年生184名、2年生172名、3年生166名、計522名(19学級)の学校です。日頃より、保護者・地域の皆様には学校の教育活動等にご理解とご協力をいただき、また登校指導や見守り活動等を行っていただき、大変感謝いたしております。

今年度はじめまで学校では新型コロナウイルスの影響を受け、教育活動に様々な制限がありました。5類移行後は、コロナ禍前に近い形に戻つつあります。生徒たち自身の手による活動も活発化

しく思っています。

学校運営協議会では、「地域とともにある学校づくり」の取組の「良いあいさつ飛び交う街づくり」のスローガンのもと積極的に取り組んでいます。本校では毎回多くの生徒たちがボランティアとして登校時間に合わせて学校近くで行っています。その際には、生目地区青少年育成協議会・学校運営協議会作製ののぼり旗を小学校でもそれぞれの計画で実施しています。小・中学校の児



の方々が同じ目標をもち、共通実践をすることで、地域の活性化につながるだけでなく、児童・生徒・保護者・地域の方々への声かけや挨拶は生徒たちにとって見守られている安心感につながり、また元気のもとにな



主任児童委員として参加している生目中学校区学校運営協議会では、今年度の取り組みとして、子どもたちのあいさつのさらなる充実決定。その具体的な行動として、毎月始めの3日間をあいさつ運動強化期間とすること。子どもたちは、任命されたあいさつリーダーを中心にノボリを持って、登校する子どもたちと大きなあいさつすること。我々協議会委員は、このあいさつ運動を地域に呼びかけていくというものです。ノボリはすでに存在しましたが、それぞれの学校で本数に差がありましたので、今回共通のノボリを作成しました。

ノボリには、たくさんの笑顔に囲まれた枠に「笑顔であいさつ」の文字を配置。笑顔の外の背景には、3校の校章も模様として入れました。笑顔の中には動物たちもいて、子どもたちに発見してもらおうお楽しみの要素も入れてみました。笑顔のあいさつを通して、子どもたちが、地域の方々と顔の見える関係を作ってほしい—そんな願いを込めました。

生目小学校では、腕章をつけた子どもたち、小松台小学校では黄色い反射バンドを腕に巻いて子どもたちがあいさつリーダーです。見かけましたら、あいさつと共に労いの言葉でもかけていただくと、子どもたちは、さらにパワーアップするのではないのでしょうか。ぜひ元気を注入してください。子どもたちが「地域にこういう人が住んでいるんだ。この地域は安心できる場所なんだ」と、あいさつを通じて、地域愛が育まれることを期待しています。



笑顔であいさつ!

”治に居て乱を忘れず”を信条に 富吉駐在所 木須信太郎

宮崎南警察署富吉駐在所の木須信太郎と申します！小林の須木村の逆で覚えてください！と言っていたら、高確率で須木さんと呼ばれたりします(^;)佐賀県生まれの33歳で、令和4年4月から富吉駐在所に住み込みで勤務しています。富吉駐在所は生目地区のうち、大字富吉、柏原、有田、長嶺、浮田の一部、跡江の一部を管轄して、日々の巡回や事件事故の対応に従事しています。

さて、せっかくなので富吉駐在所での勤務について少しご紹介させていただきます！まずは、朝7時から小学校・中学校の通学路警戒から1日が始まります。生目っ子見守り隊の方々が寒暑風雨を問わず、毎日のように従事されている登校児童の見守り活動に感化されて始めるようになりました。その後は、「巡回連絡」という各世帯・事業所を訪問する活動があり、訪問した際には、お住まいの方の確認や、事件・事故や不審者情報、各種ご相談の対応をさせていただきます。

その他、駐在所へ落とし物やご相談で来所された方への対応や、事件・事故の通報があれば、現場に急行して、その対応にも従事しています。最近では、自転車盗や車上ねらい等の窃盗事件が増加しているため、「パトカーの姿を見せる警戒」であるパトロール活動では、不審者への職務質問や住民や児童らへの注意喚起等の予防活動に力を入れています。

簡単にご紹介させていただきましたが、安全安心な町づくりを実現するために日々緊張感を持って勤務していますが、生目地区は、豊かな自然と風土からもたら



治に居て乱を忘れず

五年 宮本 紇斗
読む

四年 松浦 甘奈
陽光

六年 米良 あかね
街角



せかいで一番大きいマグロ
2年 日高りんか



たのしいおみせ
1年 たなかみはる



たたかっているおに
3年 橋口新大

生目小学校



ほしとリンゴ
2年 まごめたかや



へびにびつくり
1年 えびはらかえで

三年 大西 あおい
元

五年 渡部 陽奈
道

六年 山口 紗和
街角

小松台小学校



月にいのるねこたち
4年 松浦心優

生目中学校



家庭の日 1年 坂本 暖乃

生目中一年 三浦 彩香
月光

生目中二年 中山 夢心
な豊心か

生目中三年 原 寛太
未来 輝ける



赤い羽根 2年 平原美月



家庭の日 1年 若松 空音